

鯖街道 熊川宿

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県速岐郡上中町熊川

TEL/FAX (0770)62-0330



下ノ町の町並み

下ノ町の景観整備完成

熊川いっぶく時代村を前に、関係各位の急ピッチな工事のお陰をもちまして、待望の下ノ町の景観整備が完成しました。

約束どおりに工期を厳守していただいたことに感謝申し上げます。

下ノ町は、割と妻入つまいりの建物が多く、直線の道路と相俟って、密度の濃い町並みが展開しています。

白石神社の祭礼の際、門口に出される提灯が夜並んで輝くのは、とりわけ町並みが美しく感じられるときでしょう。

道路には、以前のように融雪装置が完備されています。

しかし、従来の帯状のコンクリートが走ってはならず、散水井の所だけ、御影石で囲まれています。

このように景観に配慮された融雪装置は、全国的にもたいへん珍しい、質の高い整備と言えます。

目次

熊川宿	1
寄稿文・話題	2・3
熊川いっぶく時代村	4・5
まちづくりフォーラム	5
活動報告・お知らせ	6

「熊川いっづく時代村」に寄せて

上中町企画課長 森下 裕

じた印象を述べさせていた
べさいます。

今年の熊川いっづく時代村は、町制50周年記念事業、若狭路博2003連携イベントとして実施されました。

熊川区ではこのイベントを盛り上げるため、早いうちから準備に取り組み綿密な計画で進められてまいりました。

特に今年は地元主体となる実行委員会を編成され、事務局を熊川公民館に置かれ、区独自の発想点に立たれ、自ら考え自ら実践する手作りの祭として企画立案されました。

今回のいっづく時代村で私が感



熊川宿はタ

イムスリップできる癒しの空間を提案でき、多くの皆さんに喜んでいただける場所でありたい。この場を効果的に盛り上げるため、おもてなしをする人たちがきらびやかでなく、江戸時代をイメージした服装、手作りのかつらに和服姿、和服はタンスにしまいこんだものを再利用していただいたらどうでしょうか。タイムスリップする熊川宿の雰囲気、もてなしに少し工夫する。都会にお住まいの方が、熊川宿に訪れていただけるもてなしとは何だろう。人情味あふれる言葉なのでしょか。情景が満足できる自然なものでしょうか。ほんまもんに取り組めば、ひとが訪れると言われますが、もう一度、皆さんで考えてみませんか。

もう一点、熊川宿に立ち寄られた多くの人はカメラとスケッチブックを持っておられました。こんな人々のおもてなしの方法をどうしたらいいのでしょうか。この絵、この写真が、語り継がれておきな輪となってひろがっていく、すべてを末まで残してくれる遺産で

あるとも言えるのではないのでしょうか。皆様はいかがでしょうか。

いっづく時代村も四回目を迎え、地元の熱気が伝わってくるイベントになってきたと思います。本当

熊川宿に想うこと

岡本由恵

観光に訪れるお客さんがよく「静かで落ち着く所ですね」「時間が止った様です」と言われます。

私が熊川に嫁いで16年が経ちました。食も文化も環境も違つた所に当初は戸惑いましたが、自然と熊川に馴染めたのはお客さんが感じる様に熊川宿が癒しの空間であった事ももちろんですが家族をはじめ、熊川の人達の人情に支えられたからだと思います。息子が外で遊んでいると、危険のない様に声を掛けて頂いたりとてもかわいがって頂きありがたい事だと感謝の気持ちで一杯になります。

癒しを求めて訪れるお客さん

にみなさんご苦労様でした。今後共、景観整備を含め、地元の連携をより深められ熊川宿が癒しの空間として多くの人に愛されることを念じております。

に少しでもおいしい物を提供し喜んで帰って頂きたいと毎日努力を惜しまない父や母の姿勢を少しでも手伝える様にこの仕事に携わりたいと思います。



伝統と

文化遺産のあるすばらしい熊川を支える一員として地域活動に協力できる事を誇りに思い、と

時に将来に渡って残し、支え続けるためにも若い人達がひとりでも増える事を願ってやみません。



景観で住みよい町並みを

熊川公民館長 松井登美夫

熊川いっぶく時代村イベントも皆様のご協力を頂き無事終える事が出来ました。来年も、今年以上にいい企画を考え、見に来られた皆様がいいイメージにしていきたいと思っています。

さて、昨今熊川宿を見学される方が多くなりお会いする皆様から昨年よりも景観が良くなったと言ふ言葉をお聞きします。先日のおーラムに出席し、我が町は我が町に暮らしている者が積極的に協力し守って行かなければならないという事を聞かされその通りだとつくづく思いました。

私事ですが、約五年前に改造しました。少し入り込んでいますが今では見学される方が来られるいろいろ話をしてお聞きしますと、「町全体がこのような建物になればすばらしい町並みになりますよ」と言っておられます。

また、小・中学生の自分達が思っていることを発表されましたが、将来を継いでいくのは、これからの若

い世代です。また、講演の中で対話という事を聞きその通りだと思います。

現在中ノ町・下ノ町が整備され、いよいよ上ノ町の整備にかかる予定になっており熊川宿が他の宿場町より立派な町並みになるように熊川区民が理解協力してこそ良くなるのではないかと思います。

昔から「他人の振りを見て我が振り直せ」と言うことわざの通りで、景観を良くするには、整備された所を見て上・中・下が整備されるよう皆様と共に熊川宿が他の町並みに負けないように頑張りたいと思います。



熊川宿伝統芸能保存会 活動報告



今年春、「ふるさと文化再興事業」により、てっせん踊り、白石神社祭礼祭囃子、熊川音頭をまとめた教本を作成しました。

毎月10日と20日の2回、てっせん踊りを中心に、唄や踊りの練習をしています。



みんな順って踊れるようになりました。今後は、分科会にしてより深く学んでいきたいと思っています。

8月3日、京都一乗寺八大神社八朔祭に参加して、交流を図りました。重厚な音頭と踊りの優雅さに感動しました。



熊川いっぶく時代村、納涼盆踊りに参加しました。時代村では、一乗寺郷土芸能保存会の皆さんにもお越し頂きました。

まちづくり研修旅行 日吉ダム・茅葺きの里・上賀茂へ

10月19日

ダム対策委員会の協賛で、「日吉ダム」へ行きました。ダム本体内部が見学でき、周辺は公園や温泉施設などが整備されています。



熊川も町並みと共に、地区全体の発展が望めます。



美山町「茅葺きの里」では、葺替えや保全修理について説明頂きました。特に防災に気を使われるそうで、貯水槽や放水銃が随所に設置されていました。



京都府上賀茂「社家町」。神官住居の伝統的様式と風情を残し、落ち着いた町並みと立派な庭園、建物が印象的でした。

上中町制50周年記念・若狭路博2003 上中ステージ

熊川いっぶく時代村

と き：平成15年9月27日(日)～28日(月)
 と ころ：鯖街道熊川宿 一帯・道の駅「若狭熊川宿」

総合司会：曾我逐家福輔
 主催：熊川いっぶく時代村実行委員会
 共催：上中町



参加100匹を超える金魚の川流れは圧巻でした。

伴信友故郷百首より
前山下り競争



ちんでもすい！
 日本の心の響き
 伝統芸能の祭典



街角で見つけたギャルたち。茶屋の前でハイ！ポーズ。



高島音頭保存会 (沼田町)



高浜の田植え唄 はまなす (福井県)



熊川音頭伝統芸能保存会 (福井県)

越中五箇山筑子唄保存会 (富山県)
 厳かで優雅なその舞いに心が癒されました。



孝子と七物語

大八車競争

新企画・大八車を使った後運びレース。親子で息の合った疾走に大きな声援が湧き起こっていました。



バザーも大繁盛。外で食べると、なぜかおいしい！

熊川今昔物語

懐かしの大ふく写真展
 熊川宿フォトコンテスト



各地から招いた伝統工芸の達人たち。繊細なその技にただ感心するばかり。

伝統工芸実演披露



毎年超人気！今年はこちらのお猪さんにタッチもできたよ。

笛や鉦の音、「わっしょい！」の掛け声が夕暮れの熊川宿に響き、時代村を締めくくりました。

猿回し

熊川いっぶく大道芸

ちんでもすい！御輿練り歩き

第9回 若狭鯖街道熊川宿 まちづくりフォーラム

— 私たちのまちづくり —

と き：平成15年10月5日(日)

と ころ：松木神社義民館

主催：若狭熊川宿まちづくり特別委員会
熊川公民館・上中町・上中町教育委員会

第1部 先進地語り

「武生 蔵の辻のまちづくり」

話し手：井上和治先生
(ラビュタ製造研究所)

かつて商業の中心地だった「蔵の辻」では、既存の蔵と町並みの整備が行われました。

現在は「持続可能な地域社会の構築」をめざして、2週間の文化祭を催したり、技能・才能を持った人に移り住んでもらうなど、永く楽しく暮らせるように活動しています。



第2部 未来語り

「私たちの未来」

初めて子どもたちも参加し、熊川での生活の様子や将来の夢を語っていただきました。

子どもたち：熊川は、景色や前川がきれいで、心が和みます。

町並みもきれいになってうれしい。友だちと松木神社や前川でよく遊んでいます。お祭りもすきです。山車に乗って気持ちよかったです。

これからは、大人も子どもも楽しめる行事をしていくといいと思います。自然がいっぱいの熊川で、地区全体が栄えてほしい。



話し手：岡本麻理子さん(熊川小学校5年)
小林直美さん(熊川小学校6年)
永平詩織さん(上中中学校1年)
聞き手：大庭 桂先生(童話作家)

公園もほしいです。
大庭先生：友達と自然の中で遊び、学ぶ。素晴らしい!!

おじいちゃん、おばあちゃん、みんなの意見を持ち寄って、この子どもたちがいきいきと暮らしていけるようにしてほしい。



第3部 講演

「助け合いのまちづくり」

講師：芝田英昭先生
(立命館大学産業社会学部教授)

まちづくりには「対話」が大切です。伝統行事のために集まり会話をしたり、あいさつや声掛けで地域を知り、人を知ることにより、地域を愛せるようになります。



熊川の山車

お披露目曳き



漆塗りが施され、風格を増した熊川の山車。時代村ではお披露目曳きが行われ、下ノ町・中ノ町を巡行しました。



籠屋さんぽるの熊川宿



各チームが工夫を凝らした衣装や演出に、街中は笑い声に包まれました。



創作ダンス



軽快な創作ダンスで、オープニングが一気に盛り上がりました。



恩地美佳の民謡ライブと アッせん踊り、熊川音頭



三昧の音や舞い、恩地美佳さんの民謡を堪能しました。熊川音頭では雨にも負けず、踊りの輪が広がりました。





10/16

松木神社例祭行われる

今年も十月十六日に松木神社で、長操先生をお祭りする祭礼が行われました。献茶、吟と舞のほかに、土佐三柏館館長で、京都在住の岡山隆寛先生による居合道の奉納が行われました。



8/15

夏の夕べを納涼盆踊りで

熊川区恒例の納涼盆踊りが行われ、流行踊りに続き、てっせん踊りや熊川音頭が踊られました。また、金魚すくいやヨーヨー釣り、輪投げなどでは子どもたちの歓声があがっていました。



8/4

熊川番所竣工式を迎え一般公開

この春完成した熊川番所に、役人二体の人形と刺股などの道具が展示され、津田雅司町長ご臨席のもと竣工式が行われました。人形のお顔が熊川の誰かに似ているという話もあります。さて、誰でしょう？



10/27

子どもたちが土壁作りに挑戦

熊川小六年生の児童たちが総合学習の一環として土壁作りに挑戦しました。現場は内藤浩義さん宅の蔵で、左官職人の井上守さんのご指導のもと、土をこねては塗り重ね、町並み保存の伝統的な技を学びました。

9/19
21

「全国町並みゼミ」に参加

第26回全国町並みゼミかしはら・今井大会が開催され、熊川宿からも四名が出席しました。二日目の15分科会の一部を紹介します。第2分科会「自分たちのまちは自分たちで守る」
—歴史的町並みの防災—
熊川は過去の多くの火災の経験から、夜番という区民による警戒監視(輪番による夜回り)が、江戸時代より春夏秋冬、風雨雪にも関わらず続けられています。
(河合健一会長の発表より)

第6分科会「安心して老後がえられるまちづくり」
—あたらしい地域福祉とまちづくり—

ディサービスセンターと保育所が一所の会場で、老後の生活に対して家づくり、道具づくりの発表がありました。また、安全で安らかに高齢者がその町に住めるための現状報告と課題についての話し合いがされました。
(宮本一男さんからの報告)

ちよつとお知らせ

NHK・福井アーカイブス 刻(とき)を走った峠道

10月17日、熊川宿まちづくりの基礎を築いて下さった松井寅吉氏、亀井清氏の様子を紹介した懐かしい映像が放送されました。

日本テレビ・みのもんたのおもいっきりテレビ

7月9日、お昼の人気番組みのもんたの「おもいっきりテレビ・今日は何の日?」で熊川宿の歴史や近況などが解りやすく紹介されました。

あとがき

朝夕の冷え込みと共に、周辺の山々が色づく季節となりました。

今年若狭路博2008の開催により、熊川宿へも特に多くの方が訪れています。町制50周年記念事業、若狭路博2008連携イベントとして行われた「熊川いっつく時代村」も、大勢の方にお越しいただきました。

下ノ町の景観整備も完成し、皆様のご理解とご協力により、修景事業も着々と進んでまいりました。

まちづくりフォーラムで、「行事や活動に参加して対話することが大切」と講演を頂きました。

これからは、町並みの保存と共に、地域全体が栄え、子どもたちが将来も楽しく、いきいきと暮らしていけるようにと願っています。

熊川宿に関する話題や写真、ご要望などお気軽にお知らせ下さい。

編集委員